

8 発達障害者支援センターの運営

当事者とその家族の多様化するニーズに対応するため、身近な地域で充実した支援が受けられる体制が必要であることから、令和元年7月に県直営となる発達障害者支援センターを設置し、一次支援機関（市町村、障害児等療育支援事業受託事業所等）、二次支援機関（発達障害者地域支援マネジャー配置事業所）と相互に連携を図り技術支援を行った。

また、発達障害児等の家族支援を推進するため、令和3年度からペアレント・プログラム事業やペアレント・メンター派遣事業を、令和4年度からペアレント・トレーニング事業を実施した。

（1）発達障害者支援センター活動実績

各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者等と密に連携し、地域の実情に応じた機関支援（個別ケース等を通じた技術支援や事例検討会等）を展開した。

○相談実績（支援者相談等を含む）

相談者数 単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	9	7	8	3	3	6	12	11	8	2	1	9	79
延べ人数	9	7	8	3	3	6	12	11	10	2	2	11	84

相談者の内訳 単位：人

区 分	本 人	家 族	関係機関	その他	計
実人数	5	52	22	0	79

対象者の年齢 単位：人

区 分	0～3 歳	4～6 歳	7～12 歳	13～15 歳	16～18 歳	19～39 歳	40 歳～	不明	計
実人数	4	5	22	15	7	7	1	18	79

相談方法 単位：件

区 分	電話	来所	訪問	メール・FAX	計
延べ件数	67	1	1	15	84

相談内容 単位：件

区 分	延べ件数
診断・相談・支援を受けられる機関について	54
対応困難な状況の改善について	8
現在の生活に関すること、家庭で家族ができること	3
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	1
現在通学している学校、利用しているサービス等	3
利用できる制度について	2
進路や将来の生活に関する相談	2
今後の就労について	1

現在勤めている職場に関する相談	2
その他	22
合 計	98

○支援者相談実績

相談件数（再掲）単位：件

実件数	延べ件数
6	6

相談対象者の圏域

単位：件

圏 域	仙南	仙台 A※ 1	仙台 B※ 2	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
件 数	2	1	0	2	0	0	1	0	6

※1 名取市・岩沼市・亶理町・山元町

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡

相談対象者の所属

単位：人

区 分	幼稚園・保育 所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学 校	所属なし	計
実人数	0	1	0	1	2	2	6

相談内容（再掲）

単位：件

区 分	延べ件数
相談の対象となっている児（者）が発達障害かどうか	1
現在の生活に関することや、家庭で家族ができること	1
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談	2
進路や将来の生活に関する相談	0
対応困難な状況の改善について（強度行動障害、精神疾患など）	4
その他（関係機関との連携、支援者の役割分担）	6
合 計	14

○連携先機関別活動実績

単位：件

関係機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
精神保健推進室	5	1	0	1	0	3	4	5	7	2	4	4	36
えくぼ※1	6	18	5	17	2	21	5	26	11	22	7	22	162
地域支援マネジャー配置事業所※2	7	20	11	21	7	27	12	24	16	24	13	24	206
療育支援事業委託事業所※3	4	17	5	20	5	24	8	23	7	18	8	19	158
その他事業所	7	2	3	3	10	7	13	5	2	3	1	5	61
市町村	5	1	11	8	8	7	9	8	6	8	5	2	78
保健福祉事務所	0	4	1	4	4	2	2	5	1	8	2	4	37
学校	3	3	4	4	3	4	7	6	2	3	0	2	41
幼稚園・保育所	0	1	1	1	0	3	5	2	3	0	0	0	16
教育委員会	1	0	1	1	2	0	1	0	0	1	0	1	8
医療機関	1	1	1	0	3	1	1	1	2	3	2	2	18
その他	9	9	8	6	11	6	13	9	7	9	10	6	103

合 計	48	77	51	86	55	105	80	114	64	101	52	91	924
-----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	-----	----	----	-----

※1 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 ((1) ~ (5) の実績を含む)

※2 発達障害者地域支援マネジャー

※3 宮城県障害児等療育支援事業所委託事業所

○圏域別活動実績

単位：件

圏 域	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
仙 南	1	2	4	6	0	3	2	7	1	7	5	4	42
仙台A※ 1	7	3	3	6	4	5	6	3	2	3	2	1	45
仙台B※ 2	2	5	5	8	6	8	2	2	2	3	2	7	52
大 崎	1	3	2	6	2	4	1	3	0	4	0	4	30
石 巻	1	2	3	5	1	8	2	6	1	2	0	2	33
栗 原	0	2	0	2	1	5	0	1	8	8	4	2	33
登 米	0	3	1	3	3	4	1	3	0	3	0	3	24
気仙沼	3	1	1	2	2	2	0	2	0	4	1	2	20
全 県	16	11	9	7	10	13	16	12	12	10	13	6	135
仙台市	1	0	0	2	0	2	0	1	0	1	1	0	8
計	32	32	28	47	29	54	30	40	26	45	28	31	422

※1 名取市・岩沼市・亘理町・山元町

((1) ~ (5) の実績を含む)

※2 塩竈市・多賀城市・富谷市・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村

(2) 新規ケース支援検討会・定期連絡会

令和6年度から、圏域ごとに隔月で新規ケース支援検討会及び定期連絡会を実施した。新規ケース支援検討会では各発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者が新たに受理した相談ケースについて多職種による多角的な視点から検討を行った。定期連絡会では各圏域の発達障害者地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の活動状況の共有、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）からの情報提供等を行うことにより、支援体制の構築に向けた技術的支援を実施した。

圏域	仙南	仙台A	仙台B	大崎	石巻	栗原	登米	気仙沼	計
ケース検討数	13	7	8	15	9	9	6	19	86

(3) 情報交換会

令和6年度から、発達障害地域支援マネジャー及び障害児等療育支援事業担当者の各圏域における支援体制づくりを推進するため、三次支援機関（宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」・子ども総合センター）とともに情報交換会を実施し、活動状況の共有や課題を把握し、関係機関とのネットワーク構築、圏域での人材育成、家族支援事業の展開等を検討した。

実施日	内容
令和7年4月10日（木）	①R7年度事業体系及び年間計画等について（えくぼ・直営） ②発達障害者啓発週間等活動報告（えくぼ） ③発達障害支援市町村等担当者会議（精神室・えくぼ・直営） ④R7年度取り組み予定等（各圏域）
令和7年6月13日（金）	①地域支援マネジャー・療育相談員活動状況（各圏域） ②読み書き困難へのリモート学習支援事業等について（直営） ③障害者虐待防止の推進について（えくぼ）

	④情報交換「ペアレント・プログラムの普及について」
令和7年8月7日(木)	①講話「個別の教育支援計画について」 (総合教育センター 主幹 斎藤 貴裕 氏) ②地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ③ペアレント・メンター養成研修等について(直営) ④情報交換「性教育や性的問題行動への対応について」
令和7年10月2日(木)	①市町村ヒアリング及び発達障害者支援推進会議について (精神保健推進室) ②地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ③教育一福祉連携研修アンケート結果等について(直営) ④意見交換「県内の強度行動障害支援体制の状況について」
令和7年12月18日(木)	①地域支援マネジャー・療育相談員活動状況(各圏域) ②発達障害支援者基礎研修実施状況等について(直営) ③意見交換「家族支援(“我が子理解”、保護者との協働)について」(話題提供:仙南圏域)
令和8年1月30日(金)	R8年度以降の県発達障害児者支援体制について (精神保健推進室)
令和8年3月16日(月)	一次～三次打合せ会

(4) 研修会の開催

発達障害児支援業務に従事している支援者に対し、知識と技術の向上を図り、実践につなげていくことを目的に各種研修会を開催した。

発達障害支援者基礎研修(一次支援機関対象)

方式	内容・講師	受講者数
オンデマンド配信 (令和7年5月1日～令和8年2月28日)	講義:「発達障害の概要と基本的対応について」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	申込件数 263 件 受講者数 702 人

実践研修Ⅰ(相談支援業務(市町村、相談支援事業所、基幹相談支援センター等)担当職員対象)

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前期	令和7年8月5日(火)	まなウェルみやぎ 第3研修室	講義・演習「発達障害児者の相談支援 アセスメントと具体的支援の提案」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	15 人

実践研修Ⅱ(直接支援部門(保育所、小・中・高校、放課後等デイサービス等)職員対象)

	実施日	会場	内容・講師	受講者数
前期	①令和7年5月26日(月) ② 〃 6月17日(火) ③ 〃 7月15日(火)	まなウェルみやぎ ①②第2研修室 ③第3研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師:宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医)	①37 人 ②35 人 ③34 人

			佐藤 寛記	
後期 (大崎)	①令和7年10月16日(木) ② 〃 11月6日(木) ③ 〃 12月4日(木)	大崎合同庁舎 大会議室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術次長(班長) 宮本 哲弘	①15人 ②14人 ③15人
後期 (名取)	①令和7年10月29日(水) ② 〃 11月28日(金) ③ 〃 12月17日(水)	まなウェルみ やぎ 第2研修室	講義・演習「発達障害特性のアセスメント ティーチャーズ・トレーニング① ～③」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記	①29人 ②30人 ③31人

母子保健体制強化事業（発達障害児支援分野）

（県・市町村の保健師、市町村母子保健事業に従事する職員等対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年7月24日(木)	子ども総合センター 会議室 (ハイブリッド)	講義「発達早期のアセスメントの視点」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義「アセスメントツールの活用例～1歳6か月 児健診時のM-CHAT導入から子ども相談支援事 業へ～」 話題提供者： 亙理町こども家庭センター 藤原 幹子 氏 亙理町健康推進課兼こども家庭センター 佐々木 美鈴 氏 助言者：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長(小児科医) 佐藤 寛記 講義「健診で見つかった「気になる子」への 支援の考え方ー小児科医の立場からー」 講師：こん小児科クリニック 院長 今 公弥 氏 行政説明「家族支援事業の概要と県内の取組状況 について」 説明者：子ども総合センター発達障害者支援班 技術主幹 松木 儀浩	95人 (集合：23人、 Web：72人)

		取組紹介「幼保連携型認定こども園を拠点とした ペアレント・プログラムの実際について」 紹介者：川崎町保健福祉課 菅野 君枝 氏	
--	--	---	--

福祉と教育の連携による発達障害支援者研修（福祉：市町村、保育所、放課後等デイサービス等職員、教育：小・中・高校特別支援教育コーディネーター等）

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
仙台 A	令和 7 年 7 月 1 日（火）	まなウェルみやぎ 第 1・第 2 研修室	【本研修】 ①実践発表「教育と福祉の連携に関する地域の 実践事例発表」 発表者：各圏域発達障害者地域支援マネジャー、 特別支援教育コーディネーター等 ②講義・演習「インシデントプロセス法を基に した事例検討」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 17 人 教育 40 人
仙南	令和 7 年 7 月 8 日（火）	大河原合同庁舎 大会議室	発表者：各圏域発達障害者地域支援マネジャー、 特別支援教育コーディネーター等 ②講義・演習「インシデントプロセス法を基に した事例検討」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 25 人 教育 61 人
仙台 B	令和 7 年 8 月 27 日（水）	仙台合同庁舎 1001～1003 会議 室	講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	福祉 31 人 教育 71 人
気仙沼	令和 7 年 8 月 29 日（金）	気仙沼合同庁舎 大会議室	事後研修（動画視聴） ○共通 「学校生活に困難を来す子どもの理解と支援」 講師：東北医科薬科大学 准教授 福地 成 氏 「児童生徒や保護者が抱える不安や葛藤への 支援について」 講師：臨床心理士 早川 典子 氏 「研修会の振り返りとアセスメントから考 える支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ○教育機関参加者向け 「宮城県発達障害者支援体制について」（子 ども総合センター発達障害者支援班作成） ○福祉機関参加者向け 「特別支援教育の支援体制について」（総合 教育センター特別支援教育班作成）	福祉 12 人 教育 28 人
大崎 栗原	令和 7 年 9 月 3 日（水）	大崎合同庁舎 大会議室	講師：東北医科薬科大学 准教授 福地 成 氏 「児童生徒や保護者が抱える不安や葛藤への 支援について」 講師：臨床心理士 早川 典子 氏 「研修会の振り返りとアセスメントから考 える支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ○教育機関参加者向け 「宮城県発達障害者支援体制について」（子 ども総合センター発達障害者支援班作成） ○福祉機関参加者向け 「特別支援教育の支援体制について」（総合 教育センター特別支援教育班作成）	福祉 11 人 教育 74 人
石巻 登米	令和 7 年 9 月 19 日（金）	石巻合同庁舎 大会議室	講師：臨床心理士 早川 典子 氏 「研修会の振り返りとアセスメントから考 える支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ○教育機関参加者向け 「宮城県発達障害者支援体制について」（子 ども総合センター発達障害者支援班作成） ○福祉機関参加者向け 「特別支援教育の支援体制について」（総合 教育センター特別支援教育班作成）	福祉 13 人 教育 91 人

保護者支援研修（市町村母子保健・子育て支援担当課、児童発達支援センター、保育所等の職員対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年9月25日（木）	まなウェルみやぎ 多目的室A	講義・演習「未就学の発達障害児を持つ保護者への適切な支援とは」 講師：尚絅学院大学 特任教授 加藤 道代 氏	35 人

地域支援体制づくり研修（市町村母子保健・子育て支援担当課、市町村教育委員会、発達障害者地域支援マネージャー、障害児等療育支援事業担当職員等対象）

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和7年6月13日（金）	まなウェルみやぎ 多目的室A	講義・演習「地域の強みを確認する」 講師：こども家庭庁 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏	48 人

圏域別研修

圏域	実施日	会場	内容・講師	受講者数
仙南 仙台A	令和7年6月13日（金）	まなウェル みやぎ 多目的室A	①講義：「Q-SACCS による現状の支援体制の可視化からPDCA まで」 講師：こども家庭庁 発達障害児支援専門官 今出 大輔 氏 ②話題提供：「保健・福祉・子育て・教育のつながりによる面的整備を目指して」 話題提供者： 角田市子育て支援課 小島 洋子 氏 仙南圏域発達障害者地域支援マネージャー 猪又 初恵 氏 ③話題提供：「早期支援体制の整備における成果と今後の課題～多角的視点からの取組～」 話題提供者： 亘理町こども家庭センター 阿部 香奈江 氏 仙台A 圏域発達障害者地域支援マネージャー 片瀬 道 氏	40 人
登米	令和7年10月6日（月）	登米市南方 総合支所 大会議室	講義：「親雄の気持ちを知ることから始めよう～気持ちの揺れ動く保護者を応援するためにできること～」 講師：宮城学院女子大学 名誉教授 足立 智昭 氏	23 人
栗原	令和8年1月9日（金）	栗原合同庁 舎 第一会議室	①講義：「チームでつくる切れ目のない支援」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ②実践発表「多職種によるチーム支援」 発表者：登米圏域発達障害者地域支援マネージャー 及川 かよ 氏 ③情報提供「療育支援事業・発達障害者地域支援マ	30 人

			ネジャーの役割」 発表者：栗原圏域発達障害者地域支援マネジャー 中鉢 彩香 氏	
--	--	--	---	--

（５）ひらがな音読支援

読みの苦手な児童からディスレクシアの児童まで幅広く読みの困難を持っている小学校 1 年生児童に早期に気づき指導を開始することを目的に、石巻市、村田町、多賀城市でひらがな音読支援に取り組んでいる。令和 7 年度は多賀城市からの依頼に応じて、実施内容に関する助言・指導及び技術的支援を行った。

年 3 回のスクリーニング評価

6 月：直音音読検査、11 月：直音音読＋単音音読検査、2 月：単音音読＋単文音読検査

スクリーニング評価後の指導

各スクリーニングで指導対象となった児童に対して、少なくとも 21 回の解説指導（一文を正確に読むための訓練、1 回 5～10 分程度）を学校（学級担任等）で実施。

研修等

実施日	会場	内容・講師	受講者数
令和 7 年 6 月 2 日（月）	多賀城市内小学校	多賀城市第 1 回小学校読みの困難を持つ児童のスクリーニング研修会 講義・演習「読みの困難をもつ児童のスクリーニングと指導」 宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記	14 人

（６）発達障害者家族支援

○ペアレント・プログラム事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・プログラム（保護者の認知を肯定的に修正することに焦点を当てた簡易的なプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・プログラムの普及、講師・実施者の養成支援を行った（R7 ペアレント・プログラム修了者：30 人、認定者 15 人）。

研修等

実施日・会場	内容等	受講者数
令和 7 年 12 月 1 日（月） オンライン	ペアレント・プログラムアドバンスワークショップ 講師：宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」 専門相談員 白石 雅一 氏	15 人

○ペアレント・トレーニング事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、子育てに難しさを感じる発達障害児等の家族にペアレント・トレーニング（子どもの行動変容を目的に保護者が適切な養育スキルを獲得することを目的としたプログラム）を提供できる体制構築を目指し、ペアレント・トレーニングの普及、実施者の養成支援を行った。

研修等

実施日・会場	内容等	受講者数
①令和7年10月15日（水） ②令和7年10月23日（木） ③令和7年10月30日（木） オンライン	ペアレント・トレーニング実施者養成研修 講師：立正大学心理学部 名誉教授 中田 洋二郎 氏	12人

○発達障害ペアレント・メンター事業

発達障害児等の家族支援を推進するため、発達障害のある子どもを養育した経験のある保護者を発達障害ペアレント・メンター（以下「ペアレント・メンター」という。）として養成し、啓発活動やグループ相談等による家族支援を行った。

ペアレント・メンター登録者数 24人（令和8年3月31日時点）

研修等

実施日	会場	内容等	参加者数
令和7年9月30日（火）	まなウェルみやぎ 第5研修室 （講師はオンライン）	ペアレント・メンター養成研修 ペアレント・メンタースキルアップ研修 【事前研修】（動画視聴） ①講義：「家族支援とペアレント・メンター」 ②講義：「メンターの役割と養成研修の意義」 講師：鳴門教育大学 教授 小倉 正義 氏 ③講義：「発達障害について」 講師：宮城県子ども総合センター 技術副参事兼技術次長（小児科医） 佐藤 寛記 ④行政説明：「宮城県における発達障害児者への支援体制」「宮城県におけるペアレント・メンター活動」 説明者：宮城県子ども総合センター 発達障害者支援班 技師 渡邊 晴菜 【本研修】（集合型） ①講義：「話を聞くことの基礎知識」 ②演習：「ロールプレイ：話を聞く」	養成 4人 スキルアップ 3人

		講師：鳴門教育大学 教授 小倉 正義 氏 ③報告：先輩メンターによる活動報告 報告者：宮城県登録メンター3名	
--	--	---	--

登録ペアレント・メンター派遣実績（派遣件数5件、実6人、延10人）

実施日	派遣先	メンター派遣人数	参加者数
令和7年6月3日（火）	市町村自立支援協議会	2人	24人
令和7年6月17日（火）	市町村自立支援協議会	2人	19人
令和7年9月1日（月）	名取市内医療機関	2人	12人
令和7年10月27日（月）	名取市内児童発達支援センター	2人	17人
令和8年1月19日（月）	名取市内医療機関	2人	10人